

「水道出前講座」の開催報告について

山武水道では、小学校4年生の皆さんに水道の仕組みをわかりやすく解説し、興味・関心を持ってもらうことを目的とした参加型広報活動として、九十九里地域水道企業団と合同で「水道出前講座」を開催しました。

1. 実施日

令和元年6月11日(火) 午前10時35分～午前11時20分

2. 開催校

九十九里町立片貝小学校 4年生 26名

3. 講座の内容

(1) 二つの水道局(山武水道、九十九里水道)について

配布資料による山武水道、九十九里水道の各施設の紹介

(2) 水の問屋さんについて(九十九里水道)

凝集沈殿実験

自然水(川の水)に凝集剤(PAC)を添加して沈殿の様子を観察
浄水場で水を作っている様子のはなし

九十九里地域水道企業団作成の動画により、利根川からの水が浄水場で
きれいになる様子の学習

(3) 水の小売屋さんについて(山武水道)

配水場から水を配っている様子のはなし

スライドで配水場の画像を見たり、質問を投げかけての説明

水のおはなし

クイズによる水への理解を深める学習

災害時に備えた山武水道の訓練の様子、災害時の対策方法、

給水袋の配布など

各種水道管の展示

ポリエチレン管、水道メータ、木樋の展示

以下に出前講座の様子と子どもたちの感想を掲示します。





こどもたちの感想

- ・わたしは、九十九里水道の浄水場でこのように水がきれいになっていることにおどろきました。配水場では、わたしたちの家などに水をとどけるのは、たいへんだと思い、水はなるべく、つかうりょうだけつかうことを心がけてみます。水はかぎられたものなので、大切にしたいと思います。
- ・今回のじゅ業でいんしょうに残ったことは、ペットボトルの実験です。凝集剤の入ったペットボトルをふって何分かたったあときれいな水になっていてすごかったです。今日はありがとうございました。
- ・片貝小学校で使っている水は、東金配水場から水がおくられているということも初めてしりました。あともうひとつ初めてわかったことがあります。水道管の全体の長さは直線距りにしてやく1400kmあることをきいてぼくはすごくびっくりしました。1時間本当にありがとうございました。